



時 栃 報 幼

題字／栃木県知事 福田富一氏

第148号

令和4年6月20日

一般社団法人 栃木県幼稚園連合会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人／齋藤 君世 ●発行人／船田 弘和

■栃幼連ホームページ <https://www.youchien.or.jp>



こどもが
まなか
PROJECT

理事長挨拶



理事長就任にあたって

栃幼連理事長 船田弘和

新制度への移行から、新型コロナウィルスの出現・感染拡大・予防対応と、激動の十年間を支え栃幼連を牽引いただいた、石嶋勇先生が退任されることとなり、過日県内十地区の会長と常任理事の先生方による正副理事長推薦委員会にて推挙され、総会の議決をもって不生私が栃幼連理事長としてご承認いただきましたことに、その責任を痛感しております。理事長の要請をいただいた折、お断りする理由は多々あれど、推薦委員長の堀先生からの要請を断る勇気が私にはありませんでした。ただ寺尾理事長の時代に副理事長であつ

た亡き父の「お前に理事長が務まるのか？」という声が耳鳴りのごとく届き、今も自問自答しております。思えば今から四十二年前、全日の会長であった小林龍雄先生と栃幼連理事長であった石川常四朗先生が、当園の十五周年にお出かけくださり、当時高校生だった私に、今の私の礎となる言葉をかけていただきました。その後その言葉のありがたさを忘れておりましたが、私の結婚式の祝辞の中で石川先生がその時のエピソードをお話いただいたときに、すべての記憶が蘇り、幼児教育の世界観、石川理事長の人間力を感

じ涙があふれてきたことを思い出します。

その頃石川理事長の発案で、栃幼連内に若い後継者の研鑽の場として青年部が結成され、各地区に波及して行きました。以来寺尾理事長、栗原理事長、石嶋昇理事長、石嶋勇理事長の時代へと、青年部は多種多様な個性が、幼児教育への情熱のもとに結集され、全国有数の委員会に発展してまいりました。

そして今、大芦川で流星群を眺め、視察研修の夜に夢を語り合い、新採研を担い、大雪の小千谷でボランティアを展開した仲間が、栃幼連の執行部に名を連ねていることを、なにより心強く感じております。

歴代の理事長先生方には遠く及びませんが、同級生である馬場・今井副理事長と池田事務局長、新たに選任された黒田副理事長とともに各委員会の委員長、理事・専門委員の先生方にお支えいただき、努めてまいります。

加盟園の皆様には、栃木県の未来を担う子どもたちのため、私たちの願いを実現すべく保育の最前線で活躍されている先生方のため、地域の幼児教育の役割を果たされている各園の発展のために意を一つにして良き方向性を見出し、幼児教育を未来につないで行きましょう。

皆様のご協力を切にお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

私は、
こんな人

なぜか第三者評価は良いといわれていますが、自己評価は甘く、家族関係者評価は最悪です。理事長就任でさらに悪化しそうです。

こども政策課長
就任にあたって

こども政策課長 谷田部 貴



今年度こども政策課長を拝命した谷田部でございます。

一般社団法人栃木県幼稚園連合会及び会員の皆様におかれましては、本県の幼児教育の振興や充実のため、格別のご尽力とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、発生から二年以上経過する新型コロナウイルス感染症は、マスクの着用や手指消毒の徹底、三密の回避など私たちの生活を一変させました。特に子どもたちにとっては、園における日常生活や各種行事において大きな制限を受け、本来の園活動で得られるはずだった喜びや感動、思い出といった経験が半減してしまっているかもしれません。しかし、そのような苦難の中においても変わらずに子どもに寄り添い、共に



喜び合い、成長を応援していただいている職員の皆様の御尽力により、子どもたちが充実した園生活を送ることができていることに改めて感謝申し上げます。

さて、我が国では急速な少子化の進行、核家族化や地域社会における人間関係の希薄化などによる家庭や地域の子どもの育てる力の低下、子育て家庭の孤立化、児童虐待の増加など、子ども・子育てを取り巻く様々な問題は、コロナ禍において深刻さを増しています。

県では「とちぎ子ども・子育て支援プラン（二期計画）」に基づき、結婚、妊娠、出産、子育ての各段階に応じた切れ目ない支援を更に推し進め、県民が安心して子どもを生み、育てることができ、子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現を目指しております。

子どもたち一人ひとりが、かけがえない社会の宝として見守られ、すくすくと育つことは、保護者の方々をはじめ、子ども・子育てに携わる全ての人々の共通の願いです。地域における子育て支援の中核的役割を担っていただいている栃木県幼稚園連合会や幼稚園・認定こども園の皆様とともに、幼児教育や子育て支援の充実に引き続き取り組んで参りたいと存じますので引き続きお力添えのほどよろしくお願いいたします。

結びに、県では、新型コロナウイルス

ル感染症対策に引き続き万全を期して参るほか、本年十月に開催する「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功に向け、機運の醸成に努めて参ります。本県開催というまたとない機会ですので、見て、触れて体験する機会を子どもたちに提供いただきますよう、皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

さらなる連携を目指して

幼児教育センター長 高木 恵美



今年度、幼児教育センター長を拝命いたしました高木 恵美（たかき えみ）

と申します。平成十九〜三〇年度まで十一年間、幼児教育センター指導主事として、皆様にお世話になりました。四年ほど管理職として小学校に勤務し、この度、立場がかわり着任いたしました。改めまして、どうぞよろしく願います。皆様には、日頃より、当センターの事業につきまして御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。併せて、愛泉幼稚園の小倉 庸寛園長には、幼児教育指導員として、豊富な御経験に基づき運営に寄与していただいております。重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年度勤務していた小学校

でこんなことがありました。春のある日、一年生が生活科で育てている朝顔の様子を発見カードに書いていました。多くの子が活動を終える中、Ｙくんだけが机に向かい固まっています。「どうしたの？」と声をかけると、Ｙくんは「ちがうことがかきたいんだよ！」と黒板を指さしました。黒板には「はっぱが、二まいでした。」「はーとみたいなたちです。」「先生の文字が。文字学習が十分でない時期の配慮として例示したものでした。さらにＹくんは、「はっぱはね、四つでね、はーとじゃなくてね、なんか、うさぎみたくてね、＼中略＼ みどりっぽいから、うさぎはちがうでしょ、＼後略＼」とあふれんばかりの思いを言葉にしました。

そうです。彼は、先生が子どものためにした配慮に無言の抵抗をしていたのです。ややもすると、課題が終わらず作業の進まない子。そう捉えがちですが、自分の納得できないことに「ちがうんだよ」と抵抗するＹくんの姿は、私には、あっぱれ！、そう思えました。自分の意思をもつ、こういった「たくましさ」はどのように育まれたのか、そんなことにも思いを馳せました。しかし、その思いを黙って固まる以外の方法で先生に伝えられたら、より良い学習者になったことも否めません。

長くなりましたが、私の中に染みついた、こういった「子どもの見方」

は、皆様から幼児教育を学ばせていただいた幼児教育センター在職中に醸成されました。全国に先駆けて開設された当センターも、今年で二十年目の節目を迎えました。これから幼児教育の質の向上と幼小の円滑な接続に向け、信頼されるセンターとして、「とちぎの子どもたち」のために尽力してまいります。今後とも御支援・御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

副理事長挨拶

栃幼連副理事長 馬場 章信



図らずも引き続き副理事長を務めさせていただくことになりました。今期は、振興委員会と青年部委員会を担当させていただきます。

コロナ禍の中、少子化のスピードは加速するばかり。各園の経営環境は厳しさを増し、その中で教育・保育の質の向上に努めていかなければなりません。課題は増すばかりです。次代を担う若い力に課題解決の先頭に立つてもらいながら、栃幼連の組織力をもって対処していければと願っています。

今井・黒田副理事長とともに船田



新理事長を支え、栃幼連の発展、すべての加盟園の発展のために尽くして参ります。よろしくお願いいたします。

私は、 子どもの頃は、緘黙児（か
こんな人 んもくじ）と心配されてい
ました。実は、初対面の

人と話したり、大勢の人の前で話すことに不安や恐怖を感じる、いわゆる「人見知り」なのです。克服法は、与えられた役割を演じること。まだまだ努力が必要です。

栃幼連副理事長 今井 政範



前期に引き続き副理事長を務めさせていたただくことになりました。連合会として何ができるのかを常に考えながら活動していきます。

今年度、令和五年度に創設される「（仮称）子ども家庭庁」の議論が始まります。国では縦割りを排し、子ども中心の新しい行政組織を作ることが示されていますが、本当に子どもや保護者のためになるよう、議論の推移を注視し、連合会の想いをしっかりと国へと伝えていきます。また、組織系統ばかりが増えて、相談などの問い合わせがたらい回しにならないよう、県市町の窓口整備をしていただきたいと考えています。

私たちが積極的に動いて、子育て家庭に優しく、全ての子どもが健やかに育つことができる栃木にしていきたいと思っておりますので、会員皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

私は、 娘たちは社会人として
こんな人 自立をし、我が家は妻と母との三人暮らしになりました。孫の誕生を心待ちにしながらも、録りためたテレビドラマの架空の人生に一喜一憂し、週末登山の準備で道具を並べて心躍らせて、充実した毎日を過ごしています。

栃幼連副理事長 黒田 光泰



今年度から、副理事長の任を預かり、気を引き締めてその任期を全うする覚悟です。理事長の船田先生とは旧知の仲、互いに忌憚なく意見が言い合えるので活発で発展的な運営が行えるものと思っています。

今期は経営研究委員会と広報委員会を担当いたします。栃幼連の約八割が認定こども園に移行した中、認定こども園はもとより私学助成園などの加盟各園の安定運営の一助となりえるように委員会の皆様と協力します。特に情報は大切ですので新

鮮で正確な情報の提供を図り、各園のニーズを探ってタイムリーな研修会の開催を企画し、利便性の高いホームページの作成・運用、そして更新に努めます。

どうか皆様のご協力、なにとぞよろしく申し上げます。

私は、 世界中で「コロナ越え」
こんな人 の今、私は「コロナ肥え」です。運動もせず、外出を控えて家呑み三昧の生活で体重が八キロ増量し、着る服がきつくなり慌てて減量しようと思った矢先の昨春、右足の靭帯損傷で引き続きの家呑み生活となり、その後も怠惰な生活を重ねる日々です。これから陽気も良くなるので少し体を動かして着られなくなった服が着られるようになります。と思っています。

各委員長挨拶

総務委員長 石川 健太郎



この度、総務委員長を仰せつかりました石川健太郎と申し上げます。微力ではございますが、委員の皆様のご協力を頂きながら、楽しく有意義な委員会になるよう努めて参ります。

急速な少子化、コロナへの対応等々、課題の多い昨今ではございますが、

すが、船田新理事長をはじめ多くの先生方と連携を取りながら精一杯任に当たる所存です。

皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

私は、 基本的に真面目、でも結構いい加減。頑固で負けず嫌。好き嫌いがハッキリしている。

人付き合いは苦手なくせに寂しがり屋。面倒くさい男です。毎日四人の子どもに慰められています。

振興委員長 富川 将



引き続き、振興委員長を仰せつかりました。精一杯任に当たりたいと思います。

す。新型コロナウイルスへの対応やロシアのウクライナ侵攻等、予測困難な時代、まさしくVUCAな時代を迎えつつありますが、石嶋前理事長の想い、ご指導いただいた教えを活かしながら、船田新理事長のもと、振興副委員長の金子礎泰先生をはじめ、所属の各委員、専門委員の先生方と一丸となって力を合わせ、知恵を出し合いながら会務の円滑な執行を目指してまいります。

政策や補助金といった面からも、質の高い栃木県の幼児教育・保育を維持し、更なる質の向上を目指して



参りますが、そのためには園長・設置者・皆様のご協力がどうしても必要です。この点をご理解いただき、今後とも旧に倍して一層のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

**私ほ、
こんな人**

おもしろいこと、楽しいこと、そして美味しいものが大好きで、宮沢賢治の雨ニモメケズの中で謳われている様な『サウイフモノ』に私もなりたと思っています人です。

教育研究委員長 小倉 庸寛



今期も教育研究委員長を拝命いたしました。任期を重ねるとマンネリ化し、

なれ合いを生むなど弊害が心配されますが、そうならないように意識高く運営して参ります。また新たな委員さんと経験のある委員さんと力を合わせて、実になる研修を計画・実行していきたいと思ひます。研修は参加者も大変ですが、抜けた穴を力バーする周りの同僚も大変です。理事長、園長先生のご理解をいただき、せっかく受講するならば自身のスキルアップと共に園に還元できる研修にできればと思ひます。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

**私ほ、
こんな人**

春の健康診断の結果が届き、運動不足を痛感しまし

た。今日こそは運動しようと思ひはするけれどもなかなか実行できない。やっとのことで実践しても長続きしない。なんだかんだ理由はあるんです！しかし、とにかく、今は自分のことは後回し！そう言い聞かせて、健康診断の結果に目をつぶることにしました。

経営研究委員長 堀 昌道



この度経営委員長を拝命しました。若かりし頃青年部委員長、前々回認定こども園委員長、前回広報委員長、今回は経営研究を務めさせていただくことになりました。毎回いろいろな先生方と

一緒にすることで、多くのことを学ぶ良い機会となっております。幸いにも経営の委員長経験者である副委員長の荒井先生はじめ、経験のある委員の方々に恵まれましたので、どんな研修を行ったら栃幼連の皆様にご喜ばれるような研修になるか、委員の先生方とよく相談して研修会を運営していきたいと思ひます。

**私ほ、
こんな人**

今年度も挑戦していたスイングはお預け状態なので、前にやっていたゴルフをアウトドアということで少し本格的に取り組む予定です。ラウンド後の反省会は上達に役に立っていると

は思われませんが、誘われると参加するのは、至福の一杯、その誘惑に勝てないからでしょう。

広報委員長 齋藤 君世



この度、広報委員長を拝命いたしました。微力ではありますが、理事長、副

理事長、そして、委員の皆さまのお知恵を拝借しながら、尽力してまいりたいと思ひます。

さて、新型コロナウイルスの感染予防対策によって、近年は、研修会等の開催のあり方が変わってきました。それに伴い、栃幼時報の紙面づくりも変化しています。また、新たにリニューアルされた栃木県幼稚園連合会のホームページは、今後、さらにご活用いただけるようなアップローチも必要であると感じています。記事の執筆を依頼させていただくことがあるかもしれませんが、その折には、私も一緒に心を込めて情報をお届けする所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

**私ほ、
こんな人**

ソロ活が好きです。最近の山頂に到着したら、キング。山頂に到着したら、簡単な料理を作ってランチタイムを過ごすのがお楽しみ。清々しい空気の中で、自然の音に耳を傾ける

マインドフルネス的な時間も大切にしています。

青年部委員長 栗原 賢臣



今年度より青年部委員長を務めさせていただきます。諸先輩方のご指導のもと、精一杯精進してまいります。青年部委員会は、研修会の企画・運営、新採研実行委員、講師といった様々な経験をさせていただいた場所です。二十代前半の私は経験もなく、

大変な仕事ではありましたが、諸先生方のお力添えもあり、今ではとても良い経験となりました。また、年齢が近い先生同士の「交流」、「情報共有」、「学び」など様々な役割を持った大切な場所です。ここでの「縁」が私の宝物です。今後、皆さまとの「縁」を大切に、より多くの方々と「縁」を結んでいきたいと考えております。そして、若い先生方と積極的に参画できる委員会にしていきたいです。

**私ほ、
こんな人**

肉体改造に取り組み、三年以上たちます。当初の予定とは異なり、なかなか進んでいないのが現状です。飲酒が原因だと分かっているのですが、やめられません。今年こそ、ベンチプレス一〇〇キログラムを目指します。

令和4・5年度 栃幼連役員・委員会構成

令和4年5月24日現在

理事長	船田 弘和（認定こども園おおみや幼児教育センター）		
副理事長	馬場 章信（認定こども園たから幼稚園）	今井 政範（認定こども園さくらが丘）	黒田 光泰（認定こども園ひかり幼稚園）
	【振興・青年部 委員会担当】	【振興・総務・教育研究 委員会担当】	【振興・経営研究・広報 委員会担当】

●総務委員会

委員長	石川 健太郎 （認定こども園アルス南幼稚園）	専門委員	寺内 宏子 （作新学院幼稚園）
副委員長	宇南山 照元 （認定こども園真岡ひかり幼稚園）	//	稲川 康代 （平出幼稚園）
委員	古本 裕一 （やしお幼稚園）	//	細島 洋明 （認定こども園真岡ひかり幼稚園いづのこ保育園）
//	岩崎 哲郎 （足利くるみ幼稚園）	//	大塚 倫子 （認定こども園こぼと）
//	都丸 洋一 （足利短期大学附属幼稚園）	//	平野 正大 （認定こども園栗の実）
//	栗原 賢明 （認定こども園くにや幼稚園）	//	中山 早苗 （認定こども園氏家幼稚園）
		//	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）

●振興委員会

委員長	富川 将 （認定こども園間々田こども園）	専門委員	稲川 康代 （平出幼稚園）
副委員長	金子 礎泰 （ひじり認定こども園）	//	上野 和彦 （にのみや認定こども園）
委員	前田 浩輔 （認定こども園友愛幼稚園）	//	清水 研作 （葛生幼稚園）
//	高瀬 恵 （佐野みのり幼稚園）	//	酒井 龍宏 （認定こども園吹上幼稚園）
//	多田 博士 （白鷗大学はくおう幼稚園）	//	大中 清見 （法徳幼稚園）
//	栗原 森人 （聖母幼稚園）	//	瀧田 真 （認定こども園ふたば幼稚園）
//	菅原 道信 （輪王寺附属日光幼稚園）		
//	石嶋 純 （認定こども園きつれ川幼稚園）		

●教育研究委員会

委員長	小倉 庸寛 （認定こども園愛泉幼稚園）	専門委員	稲川 知美 （宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園）
副委員長	山崎 英明 （認定こども園金井台幼稚園）	//	佐々木 桐子 （萌丘幼稚園認定こども園）
委員	石戸 奈緒美 （みふみ認定こども園）	//	井上 智賀 （幼保連携型認定こども園旭幼稚園）
//	青柳 貴也 （児皇台幼稚園）	//	大島 絵理子 （認定こども園呑竜幼稚園）
//	岡本 純世 （認定こども園すみれ幼稚園）	//	堀 好美 （認定こども園岩舟幼稚園）
//	栗田 英子 （認定こども園黒羽幼稚園）	//	花岡 宏樹 （認定こども園梅ヶ原幼稚園）
		//	渡邊 江身子 （認定こども園いずみ幼稚園）
		//	大嶋 裕 （認定こども園今市中央幼稚園）
		//	岡本 純世 （認定こども園すみれ幼稚園）
		//	栗田 英子 （認定こども園黒羽幼稚園）

●経営研究委員会

委員長	堀 昌道 （認定こども園岩舟幼稚園）	専門委員	三田 敏夫 （認定こども園足利こぼと幼稚園）
副委員長	荒居 養雄 （認定こども園育成館幼稚園）	//	石原 顕彰 （認定こども園佐野たちばな幼稚園）
委員	伊東 幸次郎 （認定こども園伊東文化幼稚園）	//	町田 卓哉 （認定こども園おひらふ幼稚園）
//	木嶋 香保利 （御幸幼稚園）	//	内木 大輔 （認定こども園第二薬師寺幼稚園）
//	佐藤 健太 （認定こども園七井幼稚園）	//	吉水 義浩 （認定こども園烏山みどり幼稚園）
//	齋藤 達成 （認定こども園あけぼのこども園）		

●広報委員会

委員長	齋藤 君世 （高根沢第二幼稚園）	専門委員	鱒淵 有紀 （恵光幼稚園）
副委員長	伊澤 信恭 （認定こども園静林幼稚園）	//	一ノ瀬 孝之 （認定こども園足利しらゆり幼稚園）
委員	落合 久恵 （岡本幼稚園）	//	酒井 康晴 （認定こども園愛育幼稚園）
//	吉羽 俊明 （認定こども園高ノ台幼稚園）	//	小森谷 博一 （認定こども園大平みなみ幼稚園）
//	橋本 慎平 （認定こども園鹿沼みどり幼稚園）	//	大山 裕孝 （認定こども園せいほう幼稚園）
//	桑門 秀光 （今市幼稚園）	//	月江 正太郎 （虹ヶ丘認定こども園）

●青年部委員会

委員長	栗原 賢臣 （認定こども園くにや幼稚園）	地区幹事	栗原 賢臣 （認定こども園くにや幼稚園）
副委員長	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）	//	小森谷 博一 （認定こども園大平みなみ幼稚園）
//	石嶋 純 （認定こども園きつれ川幼稚園）	//	近藤 史人 （認定こども園みのり幼稚園）
地区幹事	伊東 幸次郎 （認定こども園伊東文化幼稚園）	//	秋山 卓 （認定こども園乙女幼稚園）
//	中臣 拓 （めぐみ幼稚園）	//	青柳 貴也 （児皇台幼稚園）
//	川崎 寛章 （真岡杉の子幼稚園）	//	石嶋 純 （認定こども園きつれ川幼稚園）
//	前田 浩輔 （認定こども園友愛幼稚園）	//	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）



令和4年度 栃木県幼稚園連合会 定時総会

期日 令和四年五月二十四日(火)
会場 コンセーレ(アイリスホール)
参加 百二十五名

(うちリモート参加六十五名)
ご来賓に、栃木県議会議長 山形修治氏、栃木県幼児教育センター・センター長 高木恵美氏のお二方を迎え、コンセーレにおいて令和四年度定時総会が開催された。コロナ禍のため、昨年に引き続き会場・リモートのハイブリッド開催となる中、わずかながら落ち着きを見られるため、昨年を上回る参加となった。

総会では、今井副理事長の開会宣言から始まり、石嶋理事長の挨拶では「こども家庭庁の創設についてしっかりと注視していかなければならない」と、引き続きコロナ禍への対応に加え、新たに創設される予定の省庁について、今後の国の動向への期待と懸念が示された。続いて、ご来賓のお二方にご祝辞を頂戴した。残念ながら、栃木県保健福祉部こども政策課 課長 谷田部貴氏は、公務によりご臨席賜ることは叶わなかったが、ビデオメッセージによるお言葉を頂戴することができた。



その後、議案審議となり、議長選出では認定こども園西那須野幼稚園 福本光夫先生が選出された。資格審査、議事録署名人を経て議案審議に入る。報告事項として、石嶋理事長より令和三年度事業報告を、各委員会委員長よりそれぞれ報告があった。審議事項では、第一号議案 令和三年度収支決算書類及び附属明細書の承認について、第二号議案 細則の一部変更について、第三号議案 役員改選について審議し、満場一致で可決承認された。全ての審議が滞りなく終了し、馬場副理事長の言葉で、定時総会が閉会した。

また、永らく栃幼連のために尽力していただいた石嶋理事長に対し、ビデオメッセージ、表彰が贈られた。二十一年もの功に感謝するとともに、ひとまずお疲れ様でした、と伝えたい。



【資格審査】

出席園 百二十五園
委任状出席園 四十九園

【議事録署名人】

認定こども園今市中央幼稚園
阿部 博美先生
認定こども園梅ヶ原幼稚園
花岡 宏樹先生

栃木県私立幼稚園振興連盟 令和四年度総会

期日 令和四年五月二十四日(火)
会場 コンセーレ(アイリスホール)

栃木県幼稚園連合会定時総会に続き開催された。昨年度同様、会場参加とリモートによる参加についての開催となった。議長選出では、認定こども園西那須野幼稚園 福本光夫先生が選出された。資格審査、議事録署名人及び記録人の選出がなされ、議案審議へと移った。



【議案】

- 一、令和三年度 事業報告並びに収支決算の承認について
- 二、令和四年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について
- 三、自由民主党栃木県私立幼稚園支部 令和三年度事業報告並びに収支決算の承認について
- 四、役員改選について

【資格審査】

(百七十二名中) 会場参加 五十一名
リモート参加 六十名
委任状出席者 五十一名

【議事録署名人】

認定こども園今市中央幼稚園
阿部 博美先生
認定こども園梅ヶ原幼稚園
花岡 宏樹先生

教員養成機関・ 栃幼連懇談会

期日 令和四年六月二日(木)
会場 コンセーレ(アイリスホール)

出席養成校(順不同)
作新学院大学女子短期大学部・白鷗大学・國學院大学栃木短期大学・足利短期大学・宇都宮共和国大学・国際看護介護保育専門学校・宇都宮ビジネス電子専門学校

主な懇談内容

県内の養成校七校(十三名)と栃幼連(正副理事長、常任理事あわせて十名)の懇談会は、主に次のことが協議された。

- 一、栃幼連加盟園による『合同就職説明会』(七月十日(日))の実施について
 - 二、「就職情報誌」および「こどもの幼稚園・認定こども園求人情報サイト」への広告(協賛)について
 - 三、教員養成校の進路状況実態調査について
 - 四、教育実習について
 - 五、幼稚園・認定こども園などの就職に関する諸問題について
- 各養成校からの情報によると、コロナ禍のコミュニケーション不足により、学生たちの教育実習に対する不安が高まっていることがわかった。一方で、栃幼連側からは、就職活動に関する要望として、単願または併願の意思表示をあらかじめ確認したい意向を伝え、学生への情報共有を求めた。



幼児教育センターだより



今年度の研修がスタートしました

コロナ禍の終息が見えない状況にありますが、今年度も感染症対策を講じながら、研修を実施して参ります。研修によっては、完全オンラインによる研修を予定しているものもありますので、詳細は令和四（二〇二二）年度版「幼児教育センター研修案内」を御参照ください。

新規採用幼稚園教諭等研修

四月四日、満開の桜の中、新規採用幼稚園教諭等研修第一日を総合教育センターで実施しました。期待と意欲に満ちあふれる新規採用幼稚園教諭・保育教諭二五名が研修をスタートさせました。感染症対策のため二会場に分散し、三密を回避して実施しました。

開講式では、谷田部貴こども政策課長、石嶋勇祐幼連理事長、高木恵美幼児教育センター長より挨拶があり、新採者に温かい励ましとエールが送られました。

研修オリエンテーションの他、「教師・保育教諭として」「幼児期の保健管理と危機管理」「幼児期の教育の基本」「保育の実践と省察」について講話や演習を行いました。



新採者からは、

「保育者として働く自覚をもつことができた」「同僚や保護者と自分から積極的にコミュニケーションをとってみたい」「子ども主体の保育を大切にしていきたい」「子どもの成長を振り返ることができる記録を残していきたい」などの感想がありました。

幼児・園児との関わりを深め、日々の保育が充実したものとなるように、職員一同応援させていただきます。

幼稚園等教職五年目研修

五月十日に、総合教育センターで実施しました。これまで様々な保育実践等を積み重ねてきた、教職五年目を迎える幼稚園教諭・保育教諭一九名が研修をスタートさせました。二会場に分散して実施しました。

年間三日間にわたる研修の第一日として、「教職五年目への期待」「幼児期に育みたい資質・能力」「保育中の危機管理」「環境を構成する際の教材の工夫」「幼児・園児とものとの関わり」について講話や演習を行いました。

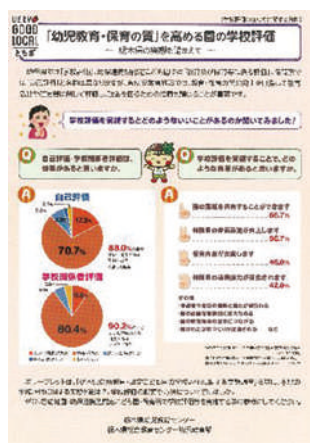
受講者からは、「五年目という区切りに研修に参加し、初心を忘れずに頑張っていきたいと思った」「危機管理に関して悩んでいる事が多くあり、安全と教育の面がバランスよく行える関わり方を工夫していきたい」「同じ教材でも使い方や組み合わせ方を変えることで、遊びと学びの世界をより広げられることが分かった」などの感想がありました。



経験を重ね、園においても先輩として、様々な立場で力を発揮していくことと思います。本研修がその一助となるよう、研修の充実に向けて参ります。

園の学校評価の在り方に関するリーフレットを作成しました

昨年度の幼児教育調査研究の成果物としてリーフレットを作成し、各園に配布しました。



研修の申込みはこちらから

研修の申込みは、こちらの研修案内（三月送付）を御活用ください。研修内容と申込書が一体となっております。また、昨年度より、QRコードによるWeb上での申込みが可能になりました。ぜひ御活用ください。



センター職員紹介

新メンバー

- センター長 高木恵美
- 副主幹 宇都宮市立上河内西小学校より 黒川貴広
- 栃木県立豊学校より

マスコットキャラクター
ピヨちゃん ピヨッ!!

よろしくお願いします



- 小倉幼児教育指導員
- 富川指導主事
- 天川副主幹
- 高根沢副主幹
- 野中幼児教育指導員
- 黒川副主幹
- 高木センター長
- 神長幼児教育センター顧問



こども政策課だより

四月の定期異動により、谷田部課長及び葛西総括課長補佐が着任し、子ども・子育て支援班では上崎班長、横山係長、山田主事、沼倉主事が配属となりました。また、初見主事は配属と同時に感染症対策課業務となりました。

引き続き幼児教育・保育や子育て支援の充実に努めて参りますので、本年度もよろしく願います。



- 山田主事
- 石下主任
- 初見主事
- 横山係長
- 上崎子ども・子育て支援班長
- 谷田部課長
- 葛西課長補佐（総括）
- 谷川係長
- 菅谷主任
- 小池主事
- 沼倉主事

学校基礎調査について

私学助成を選択する幼稚園に対する教職員確認等のヒアリングを今年度は実施する予定ですので、御協力をお願いいたします。ただし、感染拡大状況により、書面確認に変更する場合があります。

詳細については、対象の幼稚園に通知文を送付しますので御確認ください。

各種届出書類について

● 園則や園地・園舎、理事・監事等の変更を行った場合は、速やかに各届出を提出願います。

● 学校法人の令和三年度決算書及び令和四年度収支予算書の提出期限は六月三十日です。

● 令和三年度決算に伴う資産総額の変更登記を寄附行為で定める期日までに行い、登記済届をこども政策課まで提出してください。

教員免許更新制の解消について

関係法令の成立に伴い、令和四年七月一日に教員免許更新制が解消されます。詳細は国の通知を御確認ください。

令和四年七月～九月までの事業予定

7月6日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 保育セオリー講座
7月8日	合同就職説明会
7月10日	資質向上研修（森の幼稚園）
7月15日	③新採研（集合研修）
7月20日	③新採研（集合研修）
7月27日	新採研（地区研修）事前打ち合わせ
7月29日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 新採研（宿泊研修）代替研修
8月2日	8月8日
8月8日	8月9日
8月18日	8月18日
8月18日	8月25日
8月20日	第69回県教研大会 バス安全運転講習会 （財）幼児教育実践学会 ※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 資質向上研修（視察研修） 保育セオリー講座
8月30日	9月6日
9月6日	設置者・園長研修会 ※教育課程研究集会 保育テクニカル講座 ※トップセミナー
9月8日	9月14日
9月14日	9月15日
9月15日	9月20日
9月20日	9月21日
9月21日	9月29日
9月29日	※幼稚園等教職5年目研修 ※スキルアップセミナー ※は幼児教育センター事業

慶事

● 輪王寺附属日光幼稚園
創立一〇〇周年慶讃法要
令和四年四月七日

弔事

● 足利市 足利くるみ幼稚園
前理事長 上岡 羊子 先生
令和四年四月十二日 逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が広がりはじめた二〇二〇年の春から、早いもので二年が経過した。緊急事態宣言や全国一斉休校など、国をあげての感染症対策が始まって以降、私たちはずっと保育現場での感染症対策に追われ、試行錯誤しながら保育を行ってきたのである。特に、オミクロン株の急激な感染拡大では、県内の感染者数の増加も著しく、休園や学級閉鎖も珍しくはないと感じるようになってきたのではないだろうか。

スポーツ庁による「令和三年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（概要）」については、この二年間で小中学生の体力が著しく低下していることが明らかにされた。その原因のひとつとして、コロナ禍で三密を避けるために家で過ごす時間が増えたことがあり、スポーツ庁が警鐘を鳴らしている。この動向は私たちの目の前にいる子どもたちにも言えるのではないだろうか。

ウイズコロナ時代の保育では、オンラインの交流を園児との関わりに役立てられるようになってきた。しかし、子どもたちには、以前と変わらずに、存分に身体を動かして、気持ちの良い汗を流しながら外あそびを楽しんで欲しいと願うばかりである。

今年度も、様々な課題を皆さまと一緒に乗り越えながら次号の発行につなげたい。

（高根沢第二幼稚園 齋藤 君世）